

太田南小で行われた合同研修会



国語教育考える

太田南小で合同研修会

太田市の小学校の国語主任と太田南小の教職員による合同研修会が太田南小で開かれ、東京家政大の大越和孝教授が授業と講演を行

った。研修会のテーマは「思いや考えを表現し、学び合う児童の育成―『読むこと』における話し合いの活動を中心―」。大越教授が4年生の児童を相手に三越左千夫(1916〜92年)の詩「いのち」を題材にして授業。大勢の教諭らが見守る中、児童は詩の題名や作者の思いなどを、音読や話し合いを通して考えた。続く講演会では、大

越教授が授業を振り返って狙いやポイントなどを解説し、「国語を通して『育てたい子供像』というものを明確にもって教えることが大切」などと訴えた。